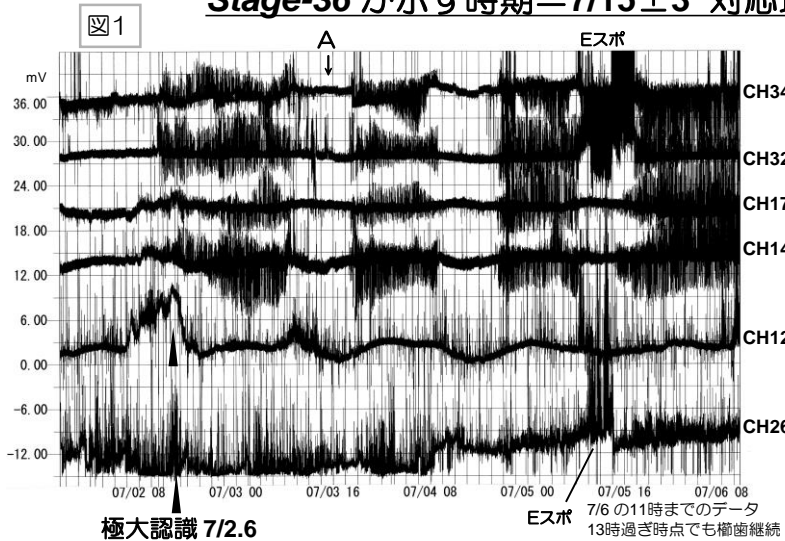


※首都圏直下・南海トラフ等大型地震は前兆検知から発生までの日数は数日の可能性が高いですが、No1778前兆は30年の観測歴上最長継続の最大に難解な変動です。No1778前兆につきましてはPHP新書「地震予報」に記したため、読者の皆様に出版後の前兆変動の変化について続報公開しています。No1778以外の他の地震前兆につきましては本HPでは公開できません。E-mail または FAX で配信している観測情報でのみ公開しています。本観測研究をご支援下さる皆様にNo1778以外の別の地震前兆変動の有無や発生推定内容等の観測情報を配信しています。観測情報配信の「公開実験」に是非ご参加下さい。2024.1/1発生 of 「能登半島地震M7.6」につきましては、2023.12/31の午前11時に、M7.3±0.5の地震が1/2±2 に発生する可能性「予報」を観測情報配信参加の皆様に配信し、地震発生に間に合いました。No1778に関しては解説資料の32頁～35頁を参照下さい。※2024.8/8発生 of 日向灘M7.1地震は、7/27 高知観測点の複数観測装置に前兆変動極大が綺麗に観測され（前兆規模M6.1±0.5、海深補正M0.9±0.3、推定規模M7.0±0.5）、前兆極大から地震発生までの日数はプレート境界型の遅いパターンTmap=12日で発生致しました。またその後は一切大型地震が推定される前兆変動は観測されておりませんでしたので、南海トラフ巨大地震発生の可能性は考えられないことを、毎日、高知観測点全観測基線波形を掲載して、日々配信の観測情報で配信公開致しました。皆様の本観測研究に対するご支援（情報配信参加）を賜りたくお願い申し上げます。

No1778 Stage-36 極大認識複数櫛歯変動継続 → 再考・修正 7/2.6 極大の可能性
Stage-36 が示す時期=7/15±3 対応地震発生の可能性有に修正

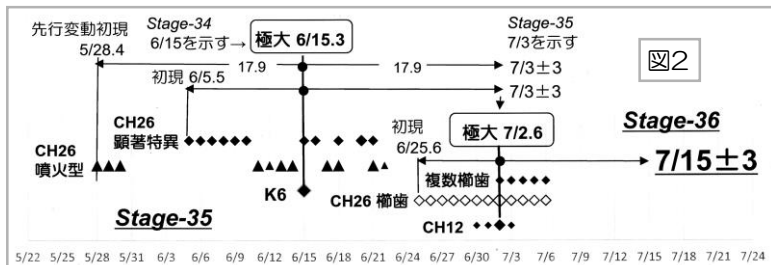


◆前観測情報で、八ヶ岳の複数観測装置に出現した顕著櫛歯変動から、図1のAをStage-36の極大である可能性と報告し、7/3.6 極大認識から7/18 ±3 を対応地震発生の可能性と考えました。しかし、図1のとおり、複数顕著櫛歯変動は日々継続出現したため、7/3.6 極大認識は誤りであることが明らかとなりました。再考・修正させて頂きます。

◆Stage-35 が示した時期は、7/3±3 でした。図1を参照下さい。▲印の7/2.6にCH26とCH12に目立つ変動が認められます。またこの時間帯から、複数観測装置の顕著櫛歯変動が出現し出しています。このことから、7/2.6がStage-36の極大である可能性が考えやすいと思われます。(7/5の変動はスポラディックE変動の可能性高い)

◆7/2.6が極大である場合、7/2.5から出現し出した複数顕著櫛歯は、極大後変動「AMA」(以前はBT-2と表していましたが、必ずしもBTではない)である可能性が考えやすく、次ステージの初現ではない認識です。この認識が正しい場合には、7/12末明に現在の櫛歯変動が静穏化することが計算されますので確認が重要です。静穏化しない場合は次ステージ突入の可能性となります。

◆7/2.6が極大である場合は、初現 6/25.6 から、Tmap:Tmap=20:13 経験則から 7/15±3 が示され、対応地震発生の可能性となります。7/13以前に静穏化すれば本推定の可能性は高くなります。



※上図2の5/28.4からのCH26噴火型は6/15.3を共通極大とした過去例の無い形で7/18を示す関係より、先行変動初現と考え、7/3を示す関係の方が考えやすい。

※図1の顕著櫛歯は本日の変動が長くピークの可能性有。AMAの周期的変化経験則「ピーク日+周期間隔の6倍値または9倍値を加算すると発生時期を示す」(本来は周期間隔=小ピークの周期間隔ですが、今回の場合は出現間隔1日を周期として適用した場合)から7/6+周期間隔1日×9=7/15±3を示す可能性も考えられる。あくまでも参考。

●推定領域：図3の実線領域内=大枠推定領域
斜線領域=火山近傍で可能性が考えやすい推定領域

●推定規模：主震十余震型の場合= M8.0±0.3 (M7.7~M8.0の可能性高い)
または複合地震活動：複合の場合はM7以上地震の断層長Lkmが
Log L=0.5M-1.8 (Utsu.)式で合計で110~150km程度となる様な複合地震活動の可能性有 (例：M7.1±0.3+M7.3±0.3 等)

※地震発生に伴う震源に近い火山での噴火の可能性は現状では低い
今後明確な噴火型変動が観測された場合は別。その場合は可能なら続報予定

●推定時期：7/15±3
※現認識推定が誤りである場合、また現推定を覆す変動出現の場合は続報で修正
※7/12末明に変動が静穏化せず次ステージに移行する場合は続報で修正

○推定地震種：震源浅い日本列島陸域地殻地震
○推定発生時刻：午前 8時30分 (または午前9時) ±2時間 or 午後 6時±3時間
(複合地震では当てはまらない場合有)

※18年継続する観測歴上最長の変動は観測例がない初めての体験で、解析が極めて難しいため推定に誤りがある可能性は否めません。お許しください。対応地震が推定に近い内容で発生した場合でも被害が少ないことを祈ります。

